

(株)ユニ総合計画設計監理報酬算定表

令和5年度

設計監理報酬額 = 基準設計監理報酬 × 設計難易度 ・ 工事監理密度

<p>設計難易度</p> <p>A 1.0(関連資料が極めて少なく、参考例もほとんどない場合など)</p> <p>B 0.8(類似の参考例や資料はいくらかはある場合/難易度の高いマンションや高級仕様の建物)</p> <p>C 0.6(類似の参考例や資料が豊富にある場合/難易度の低いマンションや一般分譲仕様の建物)</p> <p>D 0.4(参考にする設計図書の一部を修正して使用できる場合/難易度の低い普及仕様の建物)</p>	<p>工事監理密度</p> <p>A 1.0(告示内容を全て行う)</p> <p>B 0.8(告示内容の一部を行わない)</p> <p>C 0.6(告示内容のかなりを行わない)</p> <p>D 0.4(建築確認検査に必要な最低限)</p>
---	---

基準設計監理報酬 = 直接人件費 + 経費(直接人件費の75%) + 技術料(直接人件費の50%) + 特別経費

直接人件費 = 日額平均人件費 × 旧建設省告示による設計監理標準業務人・日数(下記日数表による)

< 当社の技師(C)ランク日額人件費 = 25,000円/人・日 > ※ 弊社では人件費を、国交省委託技術者単価(35,600円)の70%と抑えて計算基準としています。

※技師(C)ランク: 上司の包括的指示のもとに一般的な定型業務を担当する。また、上司の指導のもとに高度な定型業務を担当する。

《旧建設省告示による(株)ユニ総合計画の標準的な設計監理料率換算表》

* 下記料率換算表は設計難易度B~Cの中間、工事監理密度A~Bの中間で計算したものです(木造戸建て住宅を除く)

* 下記の数値は工事費に対する標準的な建物の設計・監理料率(%)を示しています

区分	第 I 類			第 II 類			第 III 類			第 IV 類					
	建物の用途 工場 車庫 倉庫			マンション 事務所ビル 商業ビル I 類の複雑なもの			ホテル・旅館 料理・飲食店 病院・劇場 第 II 類の複合建築物			1			2		
設計		監理	合計		設計	監理		合計	設計	監理	合計	設計	監理	合計	設計
500 万										11.02	7.08	18.10	9.27	3.97	13.24
1,000	7.48	5.06	12.54	8.26	5.56	13.82	9.05	6.07	15.12	9.84	6.58	16.42	8.50	3.64	12.14
1,500										9.45	6.07	15.52	8.08	3.46	11.54
2,000										9.25	6.07	15.32	7.79	3.34	11.13
3,000	6.82	4.38	11.20	7.48	4.89	12.37	8.26	5.40	13.66	8.79	5.73	14.52	7.41	3.17	10.58
5,000	5.98	3.84	9.82	6.69	4.25	10.94	7.32	4.75	12.07	8.34	5.46	13.80	6.95	2.98	9.93
8,000	5.41	3.35	8.76	6.00	3.73	9.73	6.59	4.11	10.70	7.97	5.18	13.15	6.55	2.81	9.36
10,000	5.11	3.18	8.29	5.67	3.54	9.21	6.26	3.89	10.15	7.79	5.06	12.85	6.37	2.73	9.10
15,000	4.67	2.83	7.50	5.17	3.13	8.30	5.67	3.47	9.14	7.45	4.86	12.31			
20,000	4.35	2.60	6.95	4.82	2.88	7.70	5.31	3.18	8.49	7.22	4.70	11.92			
25,000	4.14	2.43	6.57	4.58	2.71	7.29	5.04	2.99	8.03	7.07	4.61	11.68			
30,000	3.96	2.31	6.27	4.39	2.58	6.97	4.83	2.83	7.66	6.93	4.52	11.45			
40,000	3.70	2.12	5.82	4.11	2.37	6.48	4.51	2.61	7.12	6.72	4.39	11.11			
50,000	3.52	2.00	5.52	3.89	2.22	6.11	4.28	2.46	6.74	6.56	4.28	10.84			
70,000	3.25	1.81	5.06	3.60	2.02	5.62	3.96	2.22	6.18	6.33	4.12	10.45			
100,000	2.98	1.64	4.62	3.31	1.82	5.13	3.64	2.01	5.65	6.09	3.97	10.06			
150,000	2.71	1.46	4.17	3.01	1.63	4.64	3.31	1.79	5.10	5.84	3.81	9.65			
200,000	2.54	1.34	3.88	2.82	1.50	4.32	3.09	1.65	4.74	5.66	3.69	9.35			
300,000	2.31	1.19	3.50	2.56	1.33	3.89	2.81	1.47	4.28	5.42	3.54	8.96			

* 融資手続き・開発申請・総合設計・天空率・住宅性能評価等は特別業務として標準外業務標準人・日表にてもとめます。

* 上記の用途で複合するものは工事費按分にてとめます。工事監理は非常駐監理の場合です。

* 木造戸建て住宅については、旧建築家協会の料率から逆算したものを使用しています。

参考《旧建設省告示における第1206号による略算方法による設計・監理業務人・日数表》

* 下記の数値は工事費に対するCランク換算平均業務人・日を示す

区分	第 I 類			第 II 類			第 III 類			第 IV 類					
	建物の用途 工場 車庫 倉庫			マンション 事務所ビル 商業ビル I 類の複雑なもの			ホテル・旅館 料理・飲食店 病院・劇場 第 II 類の複合建築物			1			2		
設計		監理	合計		設計	監理		合計	設計	監理	合計	設計	監理	合計	設計
500 万										14	7	21	8	4	12
1,000										25	13	38	15	6	21
1,500	38	20	58	42	22	64	46	24	70	36	18	54	22	9	31
2,000										47	24	71	28	12	40
3,000	52	26	78	57	29	86	63	32	95	67	34	101	40	17	57
5,000	76	38	114	85	42	127	93	47	140	106	54	160	62	26	88
8,000	110	53	163	122	59	181	134	65	199	162	82	244	93	40	133
10,000	130	63	193	144	70	214	159	77	236	198	100	298			
15,000	178	84	262	197	93	290	216	103	319	284	144	428	113	49	162
20,000	221	103	324	245	114	359	270	126	396	367	186	553			
25,000	263	120	383	291	134	425	320	148	468	449	228	677			
30,000	302	137	439	335	153	488	368	168	536	528	268	796			
40,000	376	168	544	418	188	606	459	207	666	683	347	1030			
50,000	447	198	645	495	220	715	544	243	787	834	423	1257			
70,000	578	251	829	641	280	921	704	308	1012	1126	571	1697			
100,000	759	324	1083	843	361	1204	926	398	1324	1549	786	2335			
150,000	1036	433	1469	1149	483	1632	1263	532	1795	2226	1130	3356			
200,000	1292	532	1824	1433	593	2026	1574	653	2227	2879	1461	4340			
300,000	1762	711	2473	1955	792	2747	2148	873	3021	4136	2099	6235			